

小 児 科

小児科 研修プログラム

市民病院は平成27年度から日本小児科学会より新たに小児科後期研修拠点病院に認定されています。したがって当院独自のプログラム研修により小児科専門医取得条件の必要十分条件が満たされます。ベッド数は32床ですが、47床の新生児病棟の研修を含め病棟治療の対象疾患は感染・免疫疾患、膠原病アレルギー、神経疾患、先天性心疾患をはじめとする各種循環器疾患、小児外科疾患・形成外科疾患など幅広く、小児科疾患のほとんどすべての領域の専門医・エキスパートを揃えた実習は小児病院を超えた内容があります。研修では抄読会・学会報告・論文作成を義務付け、指導医が熱く指導します。研修中には一定期間の新生児病棟での研修を行ってまいります。

病棟では小中学校の院内学級の併設の他、7名の保育士が常駐し、患児の心のケアにあたっています。折りに触れた節分・七夕・クリスマス会など楽しい催しも多彩です。子どもたちとの触れ合いを通じて、楽しくやりがいのある研修を目指しています。



小児科関係の専門医・学会指導医

小児科学会・小児神経学・小児循環器学・感染症学・てんかん学・日本臨床神経生理学・周産期新生児学・小児がん血液学



指導医からの一言

安井 耕三 小児科主任部長

小児科医は治療だけでなく、病気を持つ子どもたちの代弁者 advocacy として良好な成育を促す重大な責務を持っています。そのためにはまずこどもの病気を総合的に診察する能力の取得が不可欠です。スペシャリストである前にまず general physician でなければいけません。一方でその上の専門的な分野を極めることも小児科専門医として必要だと考えています。こうした意味合いにおいて当院は最高の条件を有しています。小児科後期研修から小児外科希望者が出てくることも大歓迎です。是非とも有意義な小児医学研修を行っていきましょう。

病院見学は適時受け付けています。都合の良い時にご連絡を下さい。

E-mail: k-yasui@city-hosp.naka.hiroshima.jp
(安井耕三)